

アザミウマ類



アザミウマ類により加害されたプリムラ・ポリアンサの花弁(加害部位↑)と成虫(○囲み)

発生生態

花では多くの種が被害を及ぼしますが、いずれも吸汁によって色抜けや変形がおこり、多発すると葉全体が白色化します。また、吸汁された部分には、ヤニ状の排泄物があります。成虫は、暗褐色～黄色で、長さは1～1.5mm位です。幼虫は、黄色～黄白色で長さは1mm位です。葉や花に産卵し、そこで孵化した後、土の中で蛹になります。

高温と低湿度を好み、寒さには弱いので、11月から翌年5月までは、発生が少なくなります。

防除対策

紫外線除去フィルムや光反射マルチなどによる防除効果が高いですが、多発すると防除が困難となるため、早めに薬剤による防除を行います。また、雑草や残花を処分し、発生源とならないようにすることが重要です。